

令和2年 第4回 定例会行政報告

令和2年第3回定例会以降における町政の主なものについてご報告申し上げます。

最初に、お手元に第3回定例会以降における工事発注一覧表を配付しておりますのでご照覧ください。

行政報告

はじめに、要望活動についてご報告申し上げます。

11月7日、自由民主党北海道第9選挙区支部主催の政策懇談会が苫小牧市で開催され、室蘭地方総合開発期成会として道央道の登別室蘭～伊達間の4車線化について要望を行いました。

なお、当日は長内議長にもご同行をいただいております。

次に、経済対策のうち、プレミアム商品券等についてご報告申し上げます。

町民の皆様の生活安定と消費喚起による事業者や農家の皆様の経営安定を図ることなどを目的に、町民用プレミア率100%の1万円券を1,300セット、町外向けプレミア率60%の8千円券2,000セットを、9月10日から販売したところです。

今回の商品券は、商工用に加え、壮瞥町産の農産品の購入もセットとしたものであり、町民向けは10月16日までに、町外向けは11月20日までに販売を完了し、町内の広い産業分野で使用され、経済の活性化に一定の効果があつたものと認識しております。

また、ビジット昭和新山キャンペーンを、対前年の入込が20%に満たない昭和新山地区に、近隣からの来訪を促し、域内の消費喚起につなげることを目的に、9月8日から実施したところでございます。

キャンペーン開始後、国や道の施策の後押しや連休中、天候に恵まれたことなどから、10月14日までに完了し、期間中、自家用車や二輪車が、対前年90%程度まで回復し、また、三密を回避しながら20回

催行したジオツアーに、263名が参加するなど、個人客の入込回復に一定の効果があつたものと認識しております。

町といたしましては、これからも国や道の施策を活用し、地域経済の活性化に資する取組を検討していく所存であります。

なお、これらの事業には、町商工会、観光協会、自然公園財団、ジオパーク友の会や伊達信用金庫など、多くの団体のご協力をいただきましたこともあわせてご報告申し上げます。

次に、町政懇談会の延期についてご報告申し上げます。

11月24日から12月2日までの7日間、町内7会場で開催を予定しておりました町政懇談会につきましては、全国、全道及び胆振管内において、新型コロナウイルス感染症が拡大しており、感染拡大防止及び町民の皆様の安全確保の観点から開催を延期することとしました。

今後、開催時期や開催方法などについて検討し、詳細が決まりましたら改めてお知らせいたしますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、雪合戦大会の中止についてご報告申し上げます。

昭和新山国際雪合戦実行委員会では、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、次回の大会開催に向け、感染防止対策や運営方法の見直しなど、様々な準備を行ってきたところですが、現下の状況を踏まえると、感染リスクを抱えたままでの大会開催は、結果的に選手、協賛企業、地域の皆様に迷惑をかける可能性が排除できないことなどから、胆振大会も含め中止について、町に申し入れがあつたところです。

このたびの判断は、断腸の思いではありますが、これからも雪合戦を持続させていくために、影響を最小限にするための英断と考えているところであり、皆様にもご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和2年第3回定例会以降における町政の主なものについてのご報告といたします。